手紙

慶応三年八月八日　坂本権平あて

坂本龍馬

青空文庫

一筆啓上仕候。

弥(いよいよ)御機嫌能(よく)可被成御座目出度奉存候。然ニ先頃長崎より後藤参政と同船ニて上京仕候処、此頃英船御国ニ来るよしなれバ、又、由井参政と同船ニてスサキ港まで参り居候得とも、窃(ひそか)ニ事を論じ候得バ、今まで御無音申上候。此度英船の参ル故ハ、長崎ニて英の軍艦水夫両人酔て居候処を、たれやら殺し候よし、夫(それ)を幕吏ニ土佐国の人が殺候と申立候よし。其故ニて御座候。其英の被殺(ころされ)候時ハ、去ル月六日の夜の事ニて候。同七日朝私持の風帆船横笛と申が出帆致し、又御国の軍艦が同夜ニ出帆仕候。

右のつがふを以て幕吏が申スニハ、殺し候人が先ヅ横笛船ニて其場引取て又軍艦ニ乗うつり、土佐に帰り候と申立候よし也。

夫で幕軍艦英軍艦ともに参り候よし也。

然レ共先ヅ後藤、由井、佐々木ニ談判ニてかた付申候」此頃又御願申上度品在之候。彼御所持の無銘の了戒二尺三寸斗の御刀、何卒(なにとぞ)拝領相願度、其かわり何ぞ御求被成度(なされたく)、西洋もの有之候得ハ御申聞奉願候。先ハ今持合候時計一面さし出し申候。御笑納奉願候。

今夕方急ニ認候間、はたしてわかりかね可申かと奉存候得ども、先早々如此、期後日候。恐惶謹言。

八月八日　　直柔

尊兄

左右

青空文庫情報

底本：「龍馬の手紙」宮地佐一郎、講談社学術文庫、講談社
2003（平成15）年12月10日第1刷発行
2008（平成20）年9月19日第7刷発行
※底本本文の末尾に、（坂本弥太郎旧蔵）（「東洋日の出新聞」写真木版印刷掲載）とあります。
※丸括弧付きの語句は、底本編集時に付け加えられたものです。
※直筆の手紙の折り返しに合わせた改行は、省いて入力しました。
入力：Yanajin33
校正：Hanren
2010年8月26日作成
2011年6月17日修正
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

手紙

慶応三年八月八日　坂本権平あて

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

著者　　坂本龍馬
URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/